

平成24年度  
(平成23年度分)

# 事務事業評価票

B 公の施設型

No.

2106001

## I 施設の概要

通常評価

施設名 (愛称)	京都市美術館	所管局部課等	文化市民局美術館
		(連絡先)	075-771-4107
		(評価票作成者)	副館長 鋒山隆
ホーム・ページアドレス	<a href="http://www.city.kyoto.jp/bunshi/kmma/">http://www.city.kyoto.jp/bunshi/kmma/</a>		

施設運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 部分委託	設置根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	京都市美術館条例
(委託先の名称, 内容)	(名称) 近建ビル他 (内容) 空調機器等管理業務委託他		
所在地	京都市左京区岡崎円勝寺町124 (岡崎公園内)	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計
		設置年月	昭和8年11月

施設の概要	(敷地面積, 延床面積, 建物, 設備等) 敷地面積 24,331㎡ 延床面積11,316㎡ 本館1階北側, 本館1階南側, 大陳列室, 本館2階南側, 本館2階北側, 別館1階, 別館2階 恒温恒湿設備 (本館1階部分) その他, 事務室等
	(どのような手段で) 海外展, 京都の作家の展覧会等各種企画展, 全国公募展, 所蔵品を紹介するコレクション展などの展覧会の開催。各種美術団体への貸館。 アートフレンド事業などの美術普及事業。 系統的な美術品購入を通じての市民の財産としての美術品コレクションの充実。調査研究を通じての研究結果の蓄積と資料等 (図録, 年報, ニュース, 研究報告等) の作成による市民への還元。
	(どのような状態にしたいのか) 芸術の振興に資することを目的として, 展覧会の開催をはじめ, 美術品・美術工芸品・その他美術に関する資料の収集・調査研究, 貸館, 美術講座等の活動を行い, 市民が広く美術に親しむ場を提供する。

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H21年度決算	H22年度決算	H23年度決算	H24年度予算	H25年度予算
	①	事業費・運営費 (千円)	179,672	174,082	185,611	191,821	
	②	委託料	47,390	56,939	55,111	72,771	
		保守管理委託費	22,150	20,638	23,888	24,480	
		警備委託料	1,360	1,360	1,410	20,784	
		会場設営委託料	3,058	2,223	1,884	2,286	
		その他	20,822	32,718	27,929	25,221	
	③	需用費	70,557	66,453	81,173	70,562	
	④	役務費	15,787	12,893	12,561	10,947	
	⑤	その他	45,938	37,797	36,766	37,541	
	⑥	人件費 (25年度は見込) (千円)	103,149	90,073	90,915	90,915	
	⑦	年間経費 (①+⑥) (千円)	282,821	264,155	276,526	282,736	
	⑧	国庫・府支出金 (千円)					
	⑨	使用料・手数料等 (千円)	152,946	112,877	181,572	185,445	
⑩	京都市年間負担経費 (⑦- (⑧+⑨)) (千円)	129,875	151,278	94,954	97,291		
⑪	減価償却費 (千円)	4,260	4,260	4,260			
⑫	市債利子 (千円)	3,529	3,649	3,646			
⑬	京都市年間負担総経費 (⑩+⑪+⑫) (千円)	137,664	159,187	102,860			

平成24年度  
(平成23年度分)

施設名 京都市美術館

取得費等の情報 (千円)	取得費及び財源内訳		平成23年度末残高		(備考)	
	土地取得費					減価償却の方法 ・定額法 ・残存価額ゼロ ・耐用年数 50 年
	建物取得費	216,942	建物減価償却後残高	44,380		
	財源内訳					
	国庫・府支出金					
	市債		市債残高	227,000		
一般財源	216,010					
寄付金等	932					
物品(万円以上)		物品減価償却後残高				
施設の概要	料金体系	料金区分	観覧料は展覧会により異なる。 会場使用料は条例で規定。			
		主な料金	観覧料 コレクション展 一般・高大生 A500円 B300円, 小中生 A300円 B200円 京展 一般900円 高大生600円 小中生400円 その他, 各展覧会ごとに設定 会場使用料(1日当たり) 本館展示室 5,400円~31,500円 別館第1展示室 12,000円 第2展示室13,500円			
	減免内容	主催展における市内在住高齢者(京都市内在住の満70歳以上の方) 主催展における障害者等(障害者手帳・療育手帳等の所持者) 主催展における市内在住及び通勤の小中学生及び高校生等				
	直接従事職員数	京都市職員数	10人	(うち局長 人, 部長1人, 課長1人, 係長2人, 係員5人, 嘱託1人)		
	指定管理者職員数	人				
	合計	10人				
京都市内の類似施設	本市所管	学校歴史博物館 京都国際マンガミュージアム	の当施設と左記施設との相違点	展覧会や収蔵品の範囲が特化している。貸館事業を行っていない。		
	府所管	京都文化博物館, 堂本印象美術館 京都府立文化芸術会館		貸館事業を行っていない, または比率が小さい。展覧会や所蔵品が特化している。		
	国所管	京都国立博物館 京都国立近代美術館		貸館事業を行っていない。		
	民間・その他					
施設利用状況等の推移	区分		H21年度	H22年度	H23年度	
	施設の総利用者数等 (単位: 人)		1,111,357	829,132	1,287,166	
	個別事業における利用状況等の推移					
	主催展		55,931	41,119	29,168	
	共催展		668,631	409,119	893,371	
美術団体への貸館		386,795	378,894	364,627		
	(参考) 利用単位当たり京都市負担額 (京都市負担年間経費÷施設の総利用者数等) (円)		117	182	74	
利用者満足度調査	実施の有無	■ 有 □ 無		調査結果		
	実施時期(直近)	平成22年9月28日~10月3日		応対4.31 身だしなみ4, 41 接遇4.35 説明4.32 窓口4.36 意見として, 接遇や説明対応に高評価が多くみられた。一方で, 傘立て等設備面での改善希望もあった。 ※平成22年度窓口サービス評価のアンケート結果を集計したもの。 (1:大変不満~5:大変満足)		
	調査手法	展覧会場出口にて任意の方に実施				
	調査数	271件				

平成24年度  
(平成23年度分)

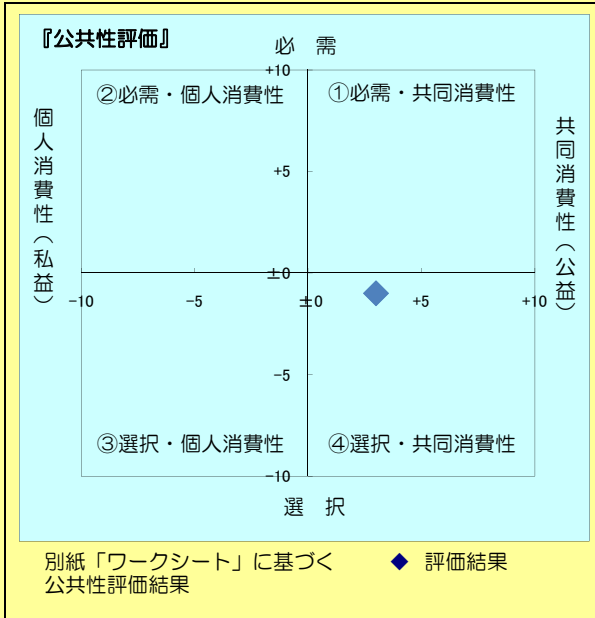
施設名 京都市美術館

**Ⅱ 評価結果** ※「Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価」は、5年ごとの重点評価時に実施

**Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価(過去の評価結果)**

評価実施年度 平成 **21** 年度

1. 公共性評価 ⇒共同消費性（公益性）／個人消費性（私益性）の評価 ⇒必需性／選択性の評価	項目	評価点
	共同消費性（公益性）	+3
	必需性	-1
	判定	選択・共同消費性

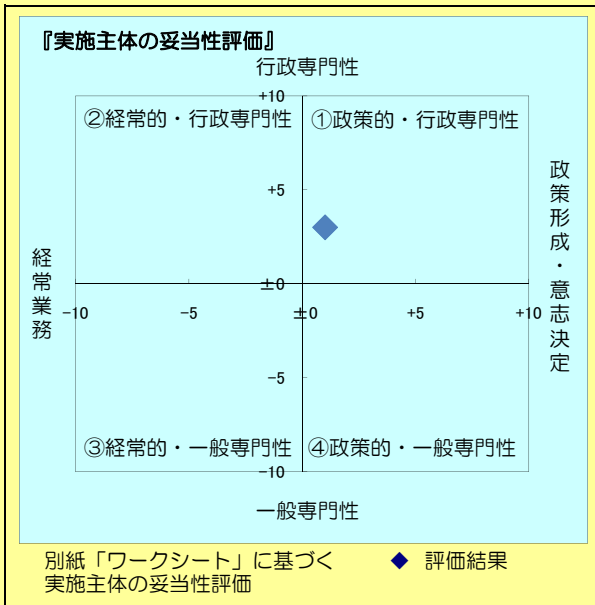


第4象限 選択・共同消費性

多数の人を対象とし、日常生活に欠かすことができないというほどではないサービスが該当します。  
行政が関与するのであれば、特に理由がある場合に最低限の範囲にとどめ、また、受益者負担を伴うことが前提となります。  
【例】 美術館・博物館の運営など

評価結果

2. 実施主体の妥当性 ⇒京都市における政策・戦略形成に係わる度合い ⇒行政における専門知識・特殊技能に係わる度合い	項目	評価点
	政策的・戦略性	+1
	専門性	+3
	判定	政策的・行政専門性



第1象限 政策的・行政専門性

業務を進めていくうえで、政策的な判断が必要であり、また、そのために行政の専門的な知識やノウハウ等が必要となります。  
行政活動の中心となる業務であり、専門知識やノウハウ等の蓄積や人材育成なども欠かせないため、原則として、行政が実施主体となる業務です。

評価結果

3. 受益者負担の妥当性評価	受益者負担の必要性（程度）	有（低い）
	現在の受益者負担率	57.6%

平成24年度  
(平成23年度分)

## Ⅱ 評価結果

施設名 京都市美術館

## Ⅱ-2 業績評価

## 1 目標達成度

目標達成度	No	区分	単位	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度予算	H25年度予算
	①	美術館利用者数 の目標値	人	791,012	805,525	844,742	947,789	
	②	美術館利用者数 の実績値	人	1,111,357	829,132	1,283,743		
	③	目標達成度 (②÷①)	%	140.5%	102.9%	152.0%		
			評価	かなり良い	かなり良い	かなり良い		
指標の選択理由	「芸術の振興」に資するため設置されたものであるが、端的に表す指標がないため、代替指標としてある程度妥当性のあると考えられる年間利用者数を使用する。		目標値設定の考え方	展覧会の数や内容に年度毎にばらつきがあるため、目標数値は過去5年間の平均値を利用する。				

## 対象指標

主たる施設利用対象者層	市民
対象者規模 (H23年度時点)	147万人 (平成23年10月1日人口)
対象者規模 (施設設置当初)	103万人 (昭和8年10月1日推計人口)
規模の将来予測	京都市基本計画 (第2期) において京都市の人口は減少することが見込まれている。

## 2 効率性

効率性	No.	区分	説明	単位	H21年度	H22年度	H23年度
	①	施設の総利用者数等	施設の総利用者数等	人	1,111,357	829,132	1,283,743
	②	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	千円	282,821	264,155	276,526
	③	利用単位あたり経費	②÷①×1000円	円/利用単位	254	319	215
	④	単位当たり経費変動率				+25.2%	-32.4%
				評価	かなり悪くなった	かなり良くなった	
総利用者数等の考え方 施設の総利用者数等について用いた指標について記載してください	主催展、共催展、貸館における総入場者数。			備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。			

## 3 その他

受益者負担比率	No.	区分	説明	単位	H21年度	H22年度	H23年度
	①	年間経費	施設の事業費・運営費・人件費及び初期投資額の合計額	千円	372,722	261,144	245,306
	②	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	千円	113,481	73,267	141,378
③	受益者負担比率	②÷①	%	30.4%	28.1%	57.6%	

## Ⅲ 今後の方向性

(検討中)	(充実及び縮小等による見直しの理由及び具体的な内容)  (「II評価結果」を踏まえ、平成25年度予算案公表時(平成25年2月)に記載・公表予定)
-------	--